



CW24 トランスミッター/レシーバーセット  
(エレキギター/ベースモデル)

取扱説明書 Ver1.01



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## 目次

安全上の注意 .....	3
EMC/EMI 準拠.....	3
はじめに.....	4
CWR24 レシーバー .....	4
各部の名称 .....	4
セットアップ .....	5
操作手順.....	7
電源投入と初期化.....	7
操作画面 .....	9
プログラム基本操作.....	10
レシーバーとトランスミッターを同期させる方法 .....	15
使用上の注意.....	16
WiFi チャンネル分布 .....	17
CWT24 デジタルトランスミッター .....	18
各部の名称 .....	18
CWT24 取付け手順.....	19
CWT24GE エレキギター・ベースへの取付け.....	20
メンテナンス.....	21
バッテリー交換手順.....	21
バッテリー・チャージャー使用方法 .....	21

## 安全上の注意



このラベルがある部分には手を触れないでください。感電の恐れがあります。



このラベルがある部分の操作、メンテナンスを行う場合は関連するマニュアルをお読みください。

1. 感電防止のため、トップカバーを開けないでください。
2. 本製品に液体がかからないよう、雨中や湿度の高い場所で使用しないでください。
3. ヒーター、ストーブなど、高温になる物の近くに設置しないでください。
4. アースピンをカットするなど、電源プラグを改造して接続しないでください。
5. 電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりするところのない場所に設置してください。
6. 付属品やアクセサリはメーカーから提供される物をお使いください。
7. 落雷の危険性がある場合や、長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
8. バッテリーは指定された型式のものを使用してください。
9. 本製品を廃棄する場合は、その市町村のルールに従ってください。
10. 通気性の良い場所に設置してください。

## EMC/EMI 準拠

注意：この製品は FCC 規則第 15 部に準拠しており、Class B digital device に認定されています。

本製品を使用すると高周波を発信する場合があります。設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

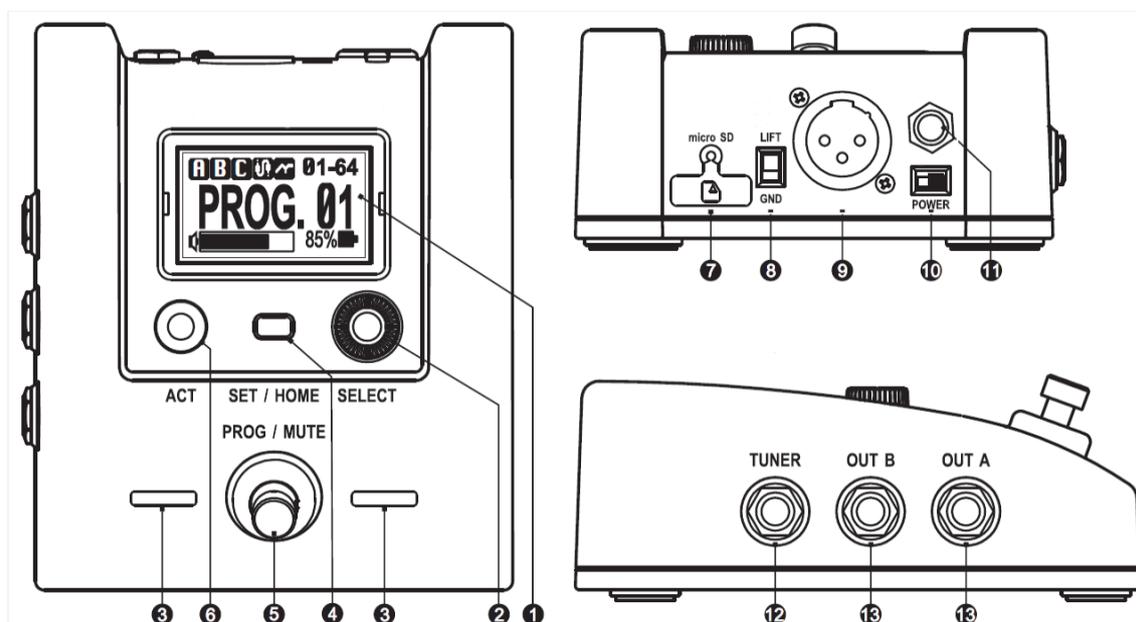
- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別系統のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

## はじめに

この度は、CW24 ワイヤレス・レーザーパートランスミッター・セットをご購入いただき、誠にありがとうございます。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

## CWR24 レシーバー

### 各部の名称

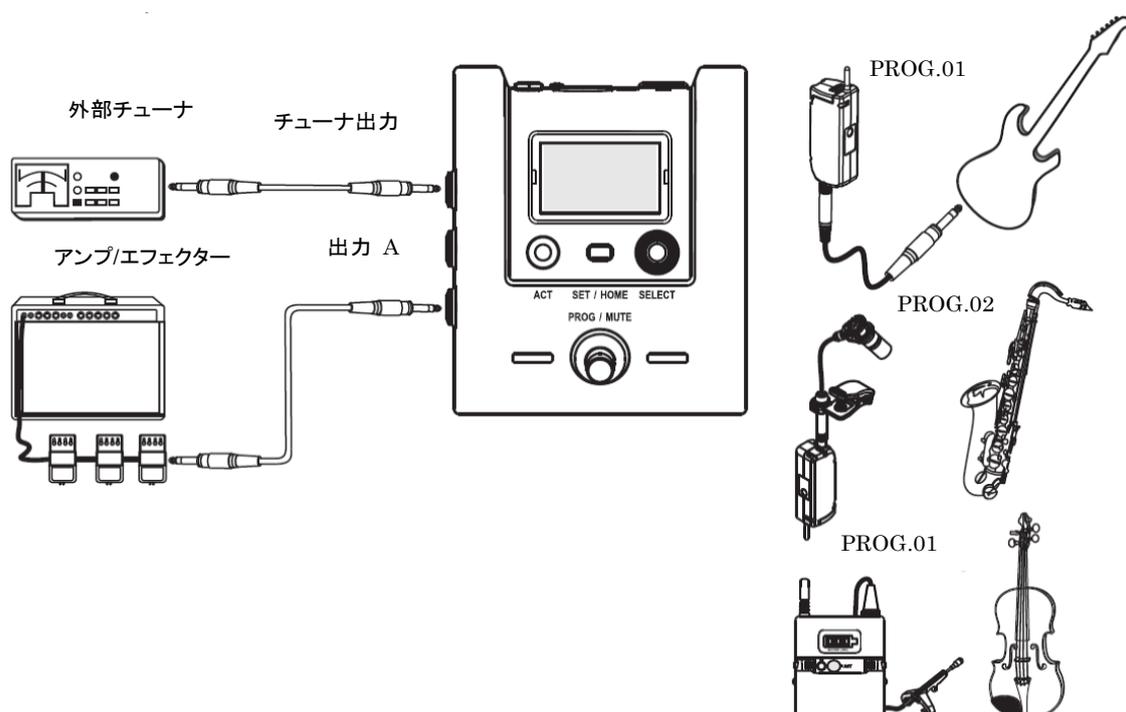


1. LCD ディスプレイ
2. SELECT : パラメーター設定用ロータリーノブ
3. LED インジケーター
4. SET/HOME : パラメーターセットボタン
5. PROG/MUTE : フットスイッチ
6. ACT : チャンネル同期
7. Micro SD : マイクロ SD カードスロット (ソフトウェアバージョンアップ用)
8. GND: グランド端子
9. OUT C : オーディオ出力端子 (XLR コネクター (バランス))
10. POWER : 電源スイッチ
11. DC IN : DC 電源入力端子

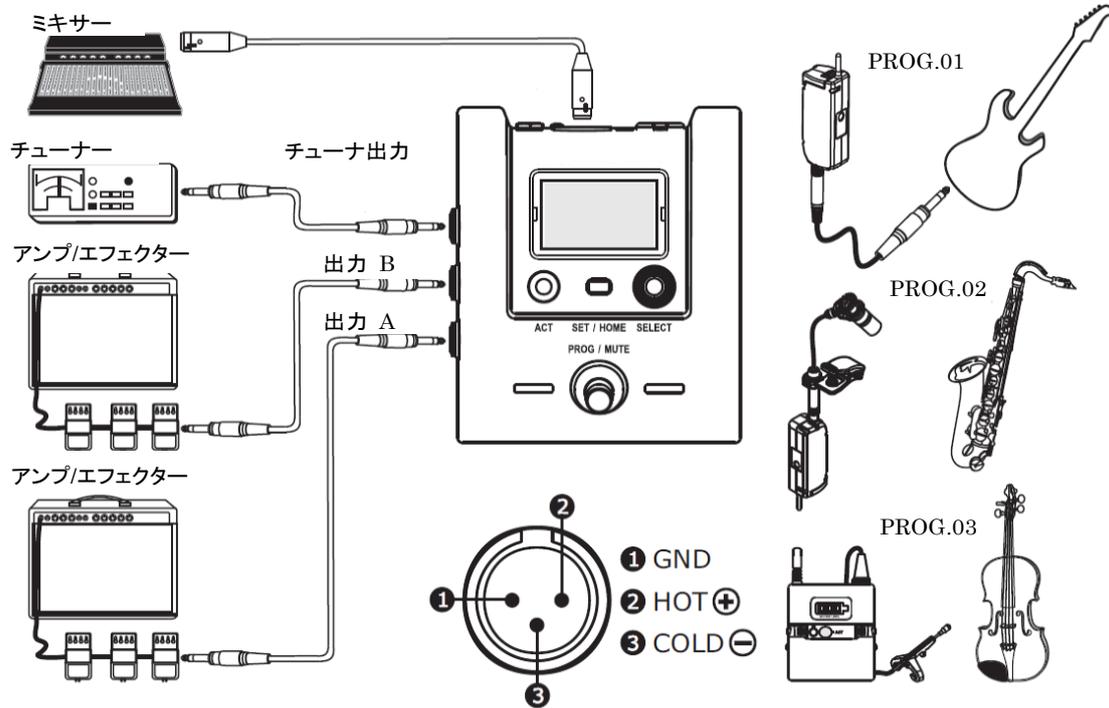
- 12. TUNER : オーディオ出力フォン端子 (アンバランス)
- 13. OUT A&B : オーディオ出力フォン端子 (アンバランス)

## セットアップ

1. レシーバー出力をチューナーとアンプに接続 :



2. レシーバー出力をミキサー、チューナー、アンプ、エフェクターに接続：

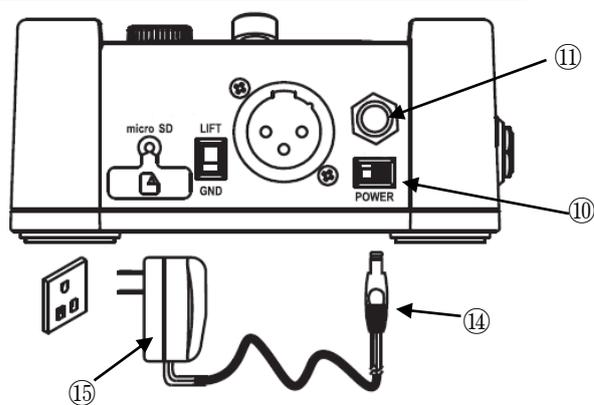


## 操作手順

### 電源投入と初期化

#### 1. 電源接続

DC 電源アダプターのケーブル端子⑭をレシーバーの DC 電源入力端子⑪に接続してから、DC 電源アダプター⑮をコンセントに差します。



#### 2. 電源投入

電源スイッチ⑩を入れます。

#### 3. 初期画面表示

前面パネルの LCD ディスプレイ①に初期画面が表示され LED インジケーター③が点灯します。

#### 4. システム初期化画面

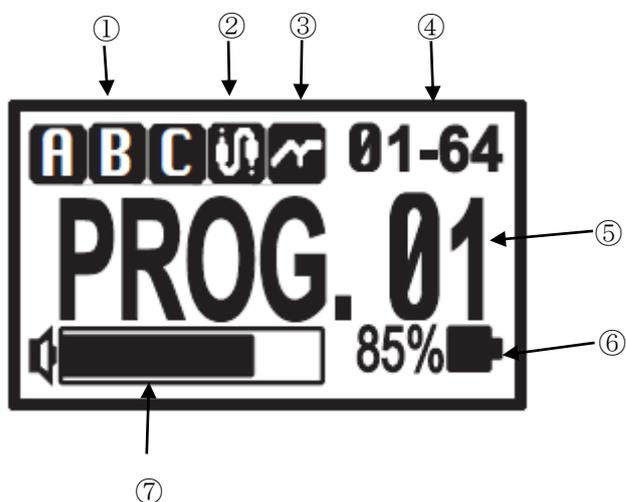
トランスミッターの電源を入れて、各チャンネルがレシーバーと同期すると、ディスプレイにバッテリーレベルと AF レベルが楽器の出力レベルに応じて表示されます。トランスミッターの電源が切れている状態で、バッテリーレベルと AF レベルが表示される場合、トランスミッターチャンネル、または ID が正しく設定されていないことを表します。この場合、ACT チャンネルボタン⑥を押して画面をリフレッシュします。

#### 5. ボリューム調整

CWT24 トランスミッターにはボリューム調整機能がありません。ボリュームを調整するときは、CWR24 レシーバー側のゲインコントロールを使用してください。

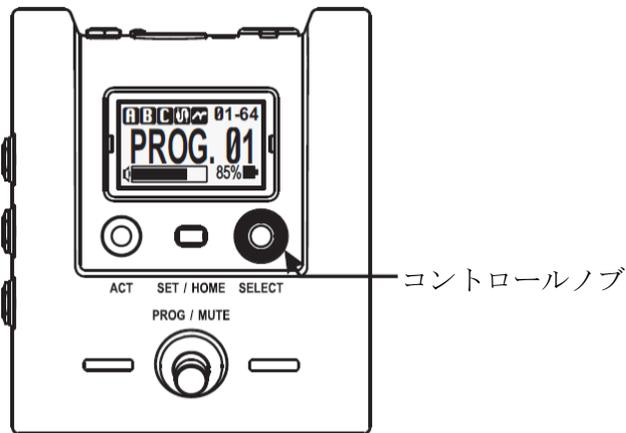


## 操作画面



- ① 使用する AF 出力端子 (ABC) が表示されます。
- ② ケーブルトーン (P10 参照) が検知された場合、表示されます。
- ③ フィードバック信号、またはレゾナンス信号が検知された場合表示されます。
- ④ 同期されたトランスミッターのチャンネルと ID が表示されます。
- ⑤ プログラム名が表示されます。
- ⑥ トランスミッターのバッテリーレベル (%) を表します。トランスミッターの電源が切れている場合、TxOFF が表示されます。
- ⑦ オーディオ信号レベルが表示されます。トランスミッターのミュートが押された場合、TxMute!が表示されます。

## プログラム基本操作



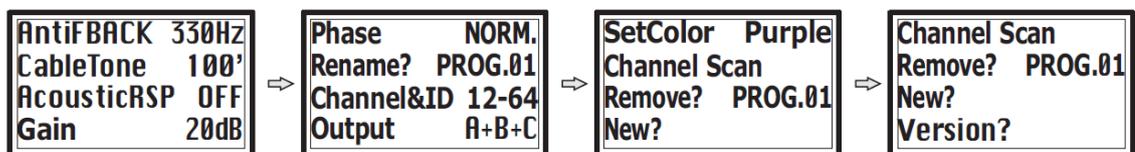
### 1. 基本操作

選択するメニューの下に\_\_\_\_\_が表示されます。

- コントロールノブを回して設定するプログラムを表示します。
- 「SET/HOME」ボタンを押し、設定するプログラムを選択します。
- コントロールノブを回して設定したい項目を表示し、押して選択します。
- コントロールノブを回して設定を変更し、押して保存します。
- 「SET/HOME」ボタンを押し、ホーム画面に戻ります。

### 2. プログラム

コントロールノブを回すと、下記の順番に画面が切り替わります。



### 3. コントロールノブ

コントロールノブの操作には次の2種類があります。



押す

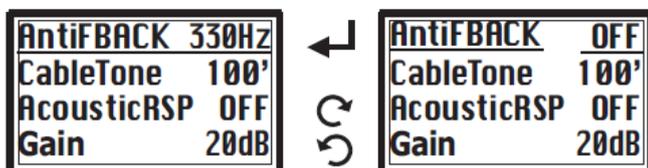


回す

### 4. AntiFBACK (アンチフィードバック)

AntiFBACK の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

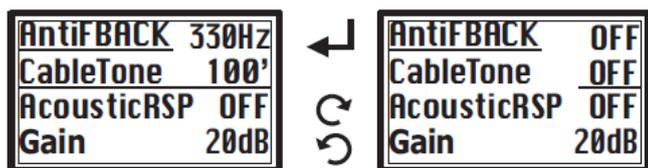
フィードバックを防ぐために、AntiFBACK から 31 種類のフィードバック周波数を選択することができます。



#### 5. CableTone (ケーブルトーン)

CableTone の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

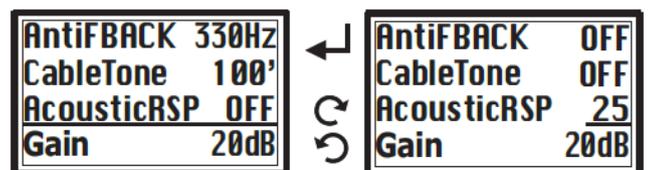
様々な長さのエレキギター・ケーブルトーンをシュミレーションすることができます。ケーブルの長さは 1~30m、14 段階で設定することができます。



#### 6. AcousticRSP (アコースティック・レスポンス)

AcousticRSP の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

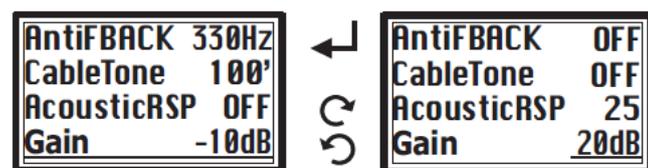
アコースティックギターの音をマイク、またはピックアップで拾う場合、余分な共鳴により、ギターの音がぼんやりしたり、低域の共鳴を生じたりすることがあります。



#### 7. Gain (ゲインコントロール)

Gain の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

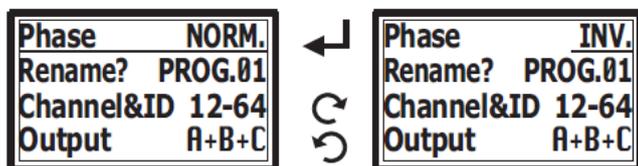
ゲインは-10~+20 の範囲 (1dB) で調整できます。



#### 8. Phase (フェーズ)

Phase の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

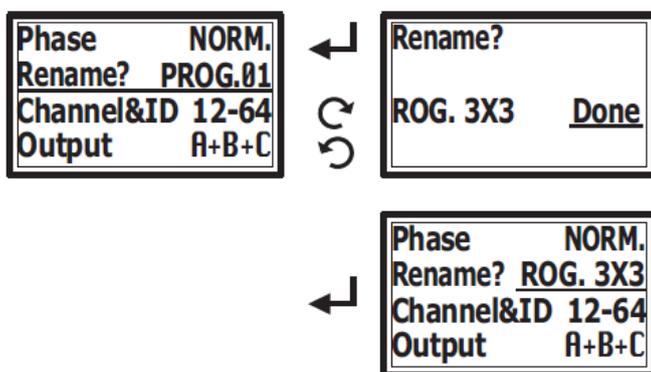
出力のフェーズ（位相）は Normal/Inverse の中から選択できます。



### 9. Rename? (名前変更)

Rename?の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

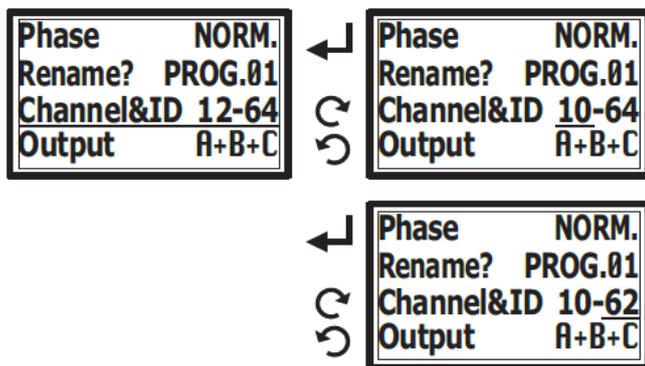
プログラム名を変更することができます。(最大文字数：8)



### 10. Channel&ID (チャンネルと ID)

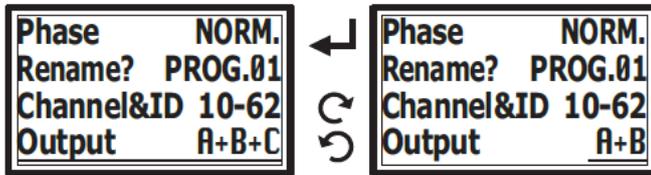
Channel&ID の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

最大 12 チャンネル、64ID が選択できます。



### 11. Output (出力選択)

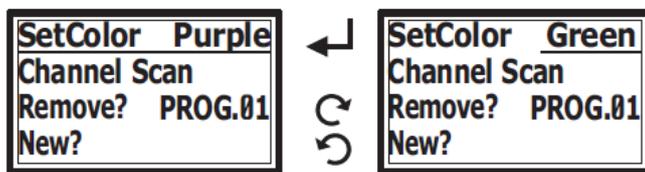
出力コネクタA、B、Cは個別に On/Off することができます。



12. SetColor (プログラムに色を設定)

SetColor の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

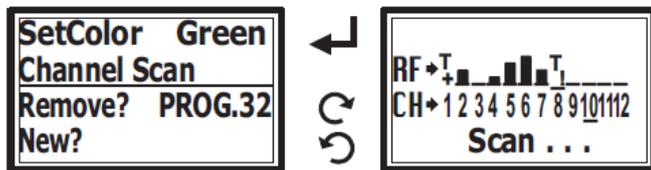
選択されたプログラムを LED インジケータの色で識別することができます。全部で 8 色選択することができます。



13. Channel Scan (WiFi チャンネルスキャン)

Channel Scan の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

電波状態の最も良いチャンネルを選択するために、電波フィールドをスキャンします。



T+

T<sub>1</sub> : 稼働中のトランスミッターが使用中のチャンネル

■ : 他のトランスミッターが使用中のチャンネル

■ : 干渉が強いチャンネル

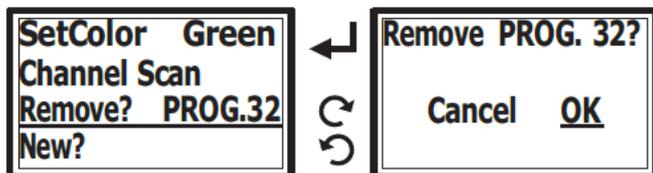
10 : 干渉が弱いチャンネル

10 : 現在選択されているチャンネル

14. Remove? (プログラム削除)

Remove?の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

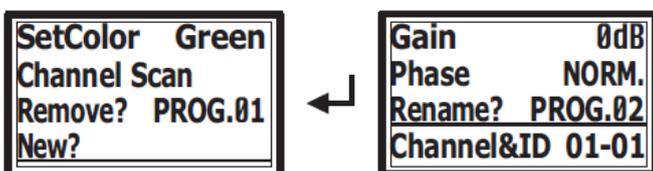
プログラムは初期設定プログラム (PROG.01) 以外、消去することができます。



15. New? (プログラム新規作成)

New?の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

新たに 32 種類のプログラムを作成することができます。



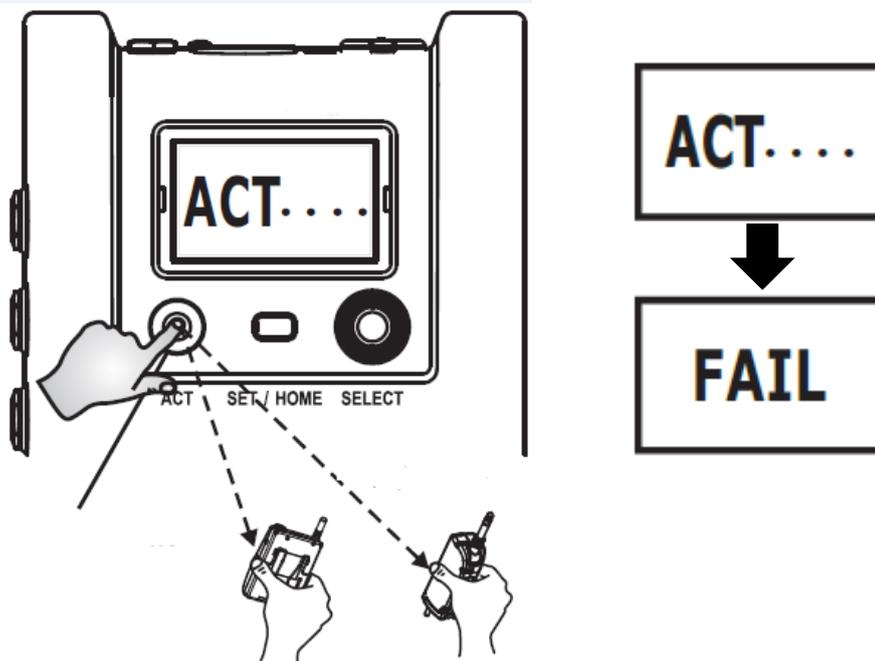
16. Version (ソフトウェアバージョン)

Version の下に\_\_\_\_\_が表示されます。

レシーバーのソフトウェアバージョンを表示します。



## 17. ACT ボタン (チャンネル同期)



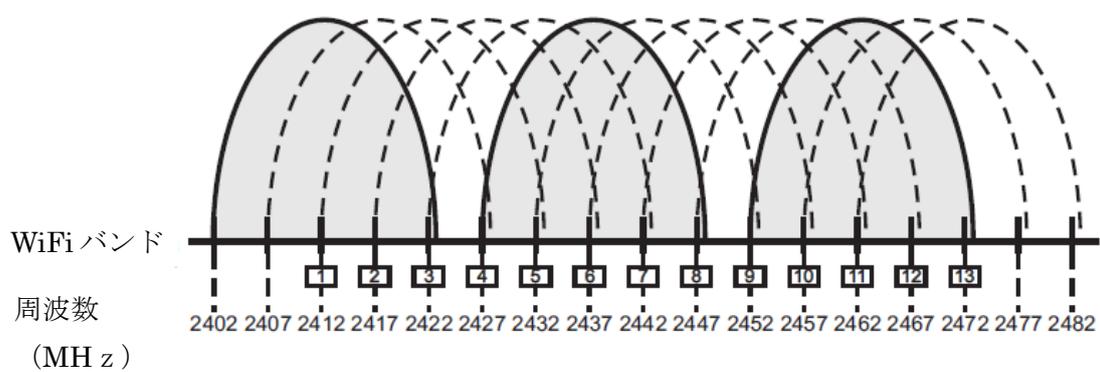
### レシーバーとトランスミッターを同期させる方法

- A. トランスミッターの電源を入れます。  
レシーバーの ACT ボタンを押します。  
ディスプレイに ACT-----が表示され点滅が開始され、同期が実行されていることを示します。
- B. 40 秒以上信号が検知されない場合、FAIL が表示されます。この場合、再度 ACT ボタンを押し同期を実行してください。トランスミッターとレシーバーの位置を 30cm の範囲内で調整して同期させます。
- C. 同期が完了したら、表示はメインメニューに戻ります。2 回目以降、10 秒以内に同期が完了しなかった場合、FAIL が表示されメインメニューに戻ります。繰り返し ACT ボタンを押してトランスミッターとレシーバーの位置を調整しながら同期が取れるまでこの手順を実行します。

## 使用上の注意

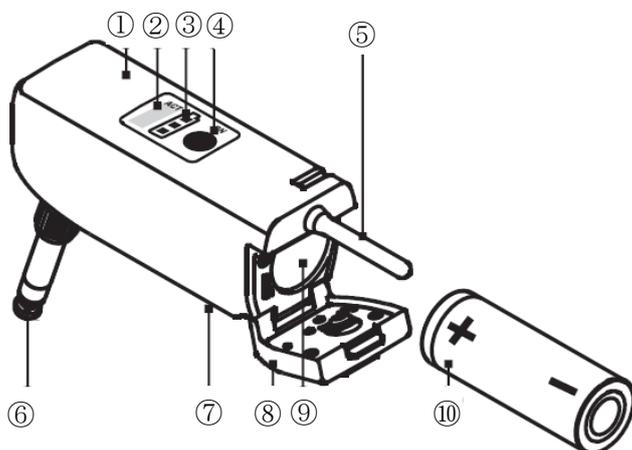
1. レシーバーは WiFi、Bluetooth、他の 2.4GHz トランスミッターデバイスと最低 5m の距離を置いて使用してください。
  2. トランスミッターとレシーバー間の受信範囲は LoS（見通し線）により表すことができます。
  3. 必ず指定の DC 電源アダプター（DC9V - 12V、300mA）を使用してください。
  4. WiFi 電波環境はスマートフォンアプリを使用して計測することができます。通常 WiFi チャンネルは 1、6、11 を使用します。
- 
- A. WiFi チャンネル 1 選択した場合、レシーバーチャンネルは干渉しないチャンネルとして 01 と 10 を選択します。さらに干渉し難いチャンネルとして 02、03、04、05、06、07、08、09 を選択します。
  - B. WiFi チャンネル 6 選択した場合、レシーバーチャンネルは干渉しないチャンネルとして 01 と 11 を選択します。さらに干渉し難いチャンネルとして 02、03、04、05、06、07 を選択します。
  - C. WiFi チャンネル 11 を選択した場合、レシーバーチャンネルは干渉しないチャンネルとして 01 と 12 を選択します。さらに干渉し難いチャンネルとして 02、03、04、05、06、07、08、09 を選択します。

## WiFi チャンネル分布



# CWT24 デジタルトランスミッター

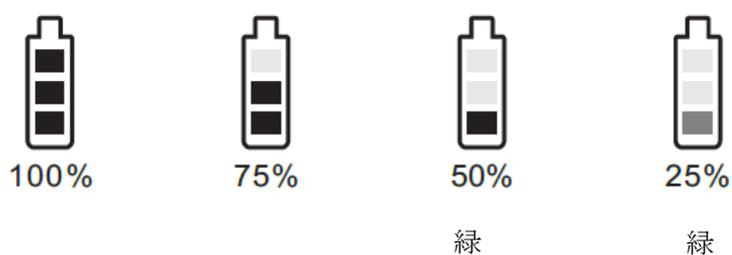
## 各部の名称



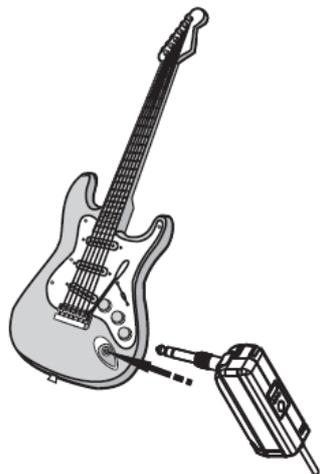
1. トランスミッター本体
2. ACT Sync ポート
3. バッテリーインジケーター
4. 電源ボタン
5. 送信アンテナ
6. フォン入力端子
7. バッテリーチャージ端子
8. バッテリーカバー (-端子)
9. 充電式バッテリー (極性を確認してください)

## CWT24 取付け手順

1. 電源ボタン④を押すとバッテリー・インジケータが点灯します。
2. 電源ボタンを 2 秒以上長押しするとバッテリー・インジケータが消灯します。
3. バッテリー・インジケータが 25% (赤) を示したとき、バッテリーを充電するか、フル充電のバッテリーと交換します。バッテリー電圧が低下すると電源が自動的に切れます。

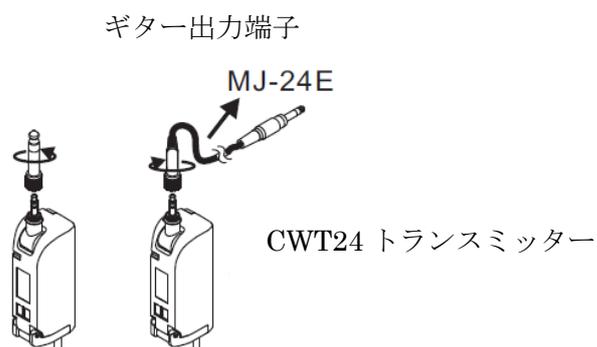


4. ギター、キーボード、他楽器の出力端子にトランスミッターを接続します。

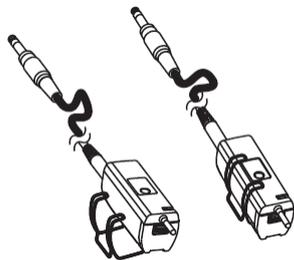


## CWT24GE エレキギター・ベースへの取付け

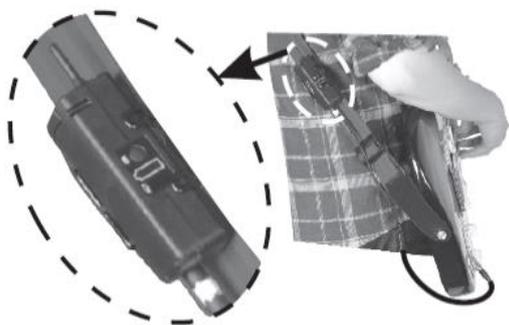
1. 下図のように既存のフォンプラグを取り外します。
2. MJ-24E 専用ギターケーブルを取り付けます。
3. ギターケーブルの片側のフォンプラグをギターの出力端子へ差し込みます。



4. クリップをトランスミッター本体に取り付けます。

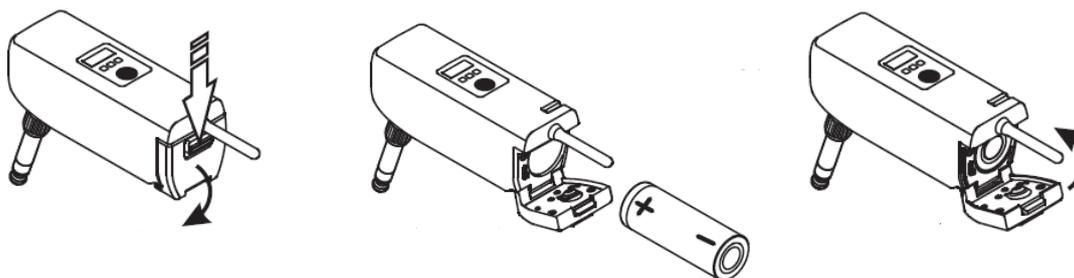


5. クリップを使用してトランスミッターをギターストラップに取り付けます。



## メンテナンス

### バッテリー交換手順



1. バッテリーホルダーのカバーを開けます。
2. フル充電した 18500 充電式バッテリーを+側から入れます。
3. バッテリーカバーを閉じます。
4. バッテリーの使用時間を伸ばすために、使い終わった後は必ず電源をオフしてください。  
また、長い間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。

### バッテリー・チャージャー使用方法

1. CWT24 トランスミッターを方向に注意しながらチャージャーに差し込みます。
2. 奥までしっかりと差し込まれたことを確認してください。
3. チャージ・インジケータLED によりバッテリーの充電状況がわかります。  
赤：充電中  
緑：フル充電  
消灯：トランスミッターが完全に差し込まれていません。

\*注意：

付属のチャージャーのみ使用してください。

充電中はトランスミッターの電源を切ってください。

